学校番号	２０７

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「最新現代社会」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な事項を確実に理解できるように、授業を大切にし、質問もしましょう。
・教材に関係の深い時事問題を取り上げるので、それをとおして関心を深めましょう。
・必要に応じて、図説や資料、視聴覚教材を利用しますので、それらも活用しましょう。

２　学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせる。
・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方生き方について考察する力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の諸問題について、自分たちのこととして受け止め、関心・意欲を育む態度を評価する。また、18歳から有権者であるという意識を持って学習に臨む姿勢を評価する。	現代社会の諸問題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	国内外の出来事に関する情報をメディアから収集し、選択して、情報の真偽を読み抜き、それに基づいて自らの意見をまとめ、表現できるようになる。	現代社会の諸問題の原因について、世界や日本の歴史、またはその他の知識と関連付けながら理解し、身に付けている。
評価方法	レポート	定期考査 提出物	定期考査 提出物	定期考査 提出物
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの生きる社会	・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・生命科学と情報技術の課題	○	○	○	○	a:世界的視野から地球環境問題や資源・エネルギー問題をとらえながら、地域ごとの問題の理解やその保全の取組について考察している。 b:設定された学習内容について、総合的に考察し、その問題点や解決方法について、自分なりのビジョンを適切に表現した。 c:ネット等を用い、事例の考察に必要な諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめた。 d:学習内容と関係のある諸問題について、知識を得ようと取り組んだ。	レポートなど提出物
	青年期と自己の形成	・自分らしく生きる ・人間としてよく生きる ・日本人としての自覚	○	○ ○	○ ○	○	a:現代社会に生きる青年として、自己の内面形成と社会とのかかわりを理解しようとした。 b: 自分の成長や将来を現実的に考えた。また、将来を担う国民の１人として日本の歴史や文化を身に付けた。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめた。 d:心理学的知識や人間理解に関する知識を身に付けた。	定期考査 レポートなど提出物
	現代の民主政治と日本国憲法	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加	○	○ ○	○	○ ○	a:日本国憲法の基本的原理と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義について考察しようとした。 b:民主政治が形成されてきた経緯とその歴史の重要性を考察した。 c:必要な資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:18 歳からの選挙権について、自分のことしてとらえ、必要な知識、理解をもっている。	定期考査 レポートなど提出物

2学期	現代の経済社会と国民生活	・現代の経済社会 ・市場のしくみ ・現代の企業 ・経済成長と国民の福祉	○ ○	 ○ ○ 	 ○ 	○ ○	a:現代の経済社会において、市場経済の意義と機能やその限界、財政・租税、金融についての理解、また経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連性について理解しようとした。 b: 資本主義、社会主義の誕生と展開の歴史を理解し、両者がどのように影響し合ってきたかを考察した。 c:多様なメディアの情報を収集、精査し、より正しい情報を選ぶことができた。さらにそれを図表などにまとめたりした。 d: 新聞等ニュースを読み、内容を理解できる知識、思考力が身に付いた。	定期考査 レポートなど 提出物
	日本経済の特質と国民生活	・戦後復興から高度経済成長へ ・日本経済の課題 ・日本の中小企業 ・消費者問題	 ○ ○	 ○ 	○ ○ 	○ ○ ○	a:日本経済がどのように発展してきたか、また日本経済の特徴や今後の課題について理解しようとした。 b:日本経済の発展について、他国との関係、法的な措置、企業や労働者の関係等について考察した。 c:副読本やその他を利用し、日本と世界との経済発展の比較など、自ら適切なテーマを設定して表現した。 d:日本経済の学習をとおして、経済と国民生活の関係について知識を深め、また、その知識を活かす意欲を身に付けた。	定期考査 レポートなど 提出物

3学期	国際社会と人類の課題	・国際政治の動向 ・国際経済の動向と国際協力	○	○	○	○	a:主に WWⅡと冷戦以降の国際政治について、領土問題（北方領土、尖閣、竹島等）、国連の役割と限界、宗教上の対立等についての理解を深めようとした。 b:国際政治と日本の政治がどのようにリンクしているのか、歴史的経緯を踏まえて考察できた。 c:副読本等を参考に、国際経済と日本の貿易収支の関係などについて、図表にまとめた。 d:日本の国際的な立場を、政治と経済の面から理解できた。	レポート レポートなど 提出物
	共に生きる社会をめざして	・WTO 体制と発展途上国 ・個人の自由と持続可能な社会	○	○	○	○	a:世界経済における南北格差問題に関する知識を身に付け、その解消についての意欲を持った。また、個人の自由を確保しながら、持続可能な社会をどう築いていくかに関する理解を深めようとした。 b:GATT が発展的に解消され、WTO に生まれ変わった経緯を考察し、世界経済にどのような貢献をしてきたか、また、一方では現在の格差社会を生み出したとされる WTO に関する理解を身に付け、考察しようとした。 c:地球の資源・エネルギー問題について、様々な資料を使って、図表等をまとめた。 d:現代社会の問題の一つである自由経済と格差解消について、参考資料を使いながら、自分なりの表現ができた。	定期考査 レポートなど 提出物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。